

令和7年9月1日 第2247回例会

RI第2730地区

宮崎南ロータリークラブ

週報

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう

2025-26年度RI会長
フランチェスコ・アレツォ

リスタート! 新たな希望への挑戦

本日の例会プログラム 第2248回例会令和7年9月8日

・ガバナー公式訪問

会長挨拶

田口幸登会長



皆さん、こんにちは。今日から9月です。立秋が過ぎても、まだまだ残暑が厳しく35度超えや35度近くの毎日です。先月までの日本全国の天気概要を見ていると宮崎市は、東京、大阪より3～5度低くて、猛暑日が少ないようです。この異常な暑さもうしばらく続くとの事ですが、体調管理に気を付けてお過ごし下さい。

9月は「防災の日」です。先日も日向灘沖で地震が起きました。にわかには現実味を帯びてきました南海トラフ巨大地震、トカラ列島の群発地震。先週は霧島新燃岳の噴火がありまして、警戒レベルが3に引き上げられました。いやをなくしても防災に意識を高める今日この頃です。皆さん、いざという時の準備はできていますでしょうか?特に今週は「防災の日」にちなんだ特番が、テレビ・ラジオで組まれており、自治体、団体ごとに防災訓練が開催されています。人は普段はしっかりと考えて行動できるのにパニック状態になると、とんでもない行動を取る事もしばしば見受けられます。なかなか難しい事ですが、いざという時に落ち着いた行動が取れるように、日頃から心がけておきたいものです。

「備えあれば憂い無し」ですね!

さて、来週はガバナー公式訪問例会です。今年度西本幸則ガバナーは、「居心地の良いクラブとは」を地区方針とされて、退会防止に努め、会員増強を行い楽しいクラブを作りましょう!そして、我々ロータリー会員は、夢を持ち、つながりを大切に計画にコミットする行動をし、失敗を恐れず、認め合い、責任を持ち、楽しい環境を作りましょうと提唱されています。この方針のもと

9月の月間 ロータリーの友月間 基本的教育と識字率向上月間

出席委員会報告

平賀義浩委員長

●出席状況

日 状 況

会員数	(55)57名
本日出席者数	33名
本日欠席者数	24名
出席率	60.00%

前々回修正出席状況

メイクアップ数	4名
修正出席率	80.00%
メイクアップされた方(敬称略)	
大田寛子、田中 寛、田中靖彦	
渡邊友樹	

今回のクラブフォーラムは、会長(田口)が司会・指導の下、入会3年未満の会員を中心にディスカッション形式で行って下さいとの事です。通常ですとクラブの活動状況について代表者が発表した後にガバナー講評を頂くのですが…今年は、趣が変わっておりまして少々不安に感じています。とは言え来週の事ですので、しっかりと準備をして、可能な限り対応をしていきたいと思っています。ディスカッション形式でといっても要を得ませんが、是非とも皆様の協力を頂きながら、成功裏に終わりたいと思います。どうかよろしくお願い致します。

先ずはにっこり!今日も笑顔で!!

幹事報告

日高安隆幹事



・ガバナー公式訪問例会について

次週9月8日はガバナー公式訪問例会となり、通常と食事を摂るタイミングが変わってきます。

当日は12:30にガバナーを皆さんでお迎えして、点鐘～ロータリーソング～職業宣言唱和まで終わった時点で揃っての食事開始となります。食事後12:50～会長挨拶、幹事報告、各委員会報告～ガバナーアドレス～点鐘(一旦閉会)、すぐに全体で写真撮影となります。その後に「クラブフォーラム」が行われ14:30終了予定となります。

クラブフォーラムではそれぞれが考える「居心地の良いクラブとは?」が焦点ですので、各自、自身の考えを準備してお越しください。

●結婚月

大浦秀幸会員、日高安隆会員



●誕生月

田口幸登会員、杉本英一会員、井野元孝洋会員
安藤茂洋会員、萩元條二会員、



会員卓話

岩切之弥会員



皆さん、こんにちは。2回目の卓話と言う事ですが、何を話そうかと考えましたが、1回目の自己紹介の時に話した、里親について話そうと思います。

まず里親を始めたきっかけですが、隣の家の友人夫婦の紹介でした。やはり子供の居ない友人夫婦の庭先から子ども声が聞こえてきて、聞いてみると里親制度を利用して、子どもを預かったと、とても幸せそうで話してくれたのを見て、うちにも子供がいなし、ウチも始めようかと登録に踏み切りました。

どのように登録をするかと児童相談所等のHPをのぞきました。そのとき驚いたのは登録開始から完了まで丸々1年かかることです。今考えれば、子どもを預かる育てるのだから、そのくらいかかって当たり前なのですが、その時はちょっと行って、パパッと登録済ませて、ハイ完了って流れだと思っていましたのでホントに驚きました。

過程としまして、まず児童相談所や里親復旧センターの面接を受け、基礎研修という座学を受けます、次のステップに進むと、別日に児童施設に行き実際に子供たちと遊びながらのふれあい研修を受けます。その後再度面談等があり審査の可否の結果、合格した者が里親認定・登録することができます。かかる期間はおよそ1年間です。

子ども達の受け入れ方も様々あり、長期間預かり家族同様の生活を送る養育里親。

保護者が疾病やその他の理由により子供を養育することが一時的に困難となった場合に、代わりに養育・保護を行う子育て短期支援里親。

児童養護施設などで暮らしている子どもに、週末・祝祭日・夏休み・冬休み・春休み・秋休みなど学校の休業期間に数日間にわたって、家庭生活を経験してもらうこと」を目的に掲げる季節里親などがあります。

最初、短期間のみ預かる子育て短期支援里親と季節里親（ふれあい家庭）を希望しました。養育里親も一緒に登録はしましたが、やはり長期間の養育は年齢と体力もろもろに自信がなかったので少し後手に回りました。

しかしながら、短期支援里親とふれあい家庭を数年行い、何人かの子どもたちと時には数日、時には三カ月程、一緒に生活をおくりました。いつもお別れする時は涙涙のお別れです。元気にお家に帰っていくのだから笑顔で送りたいのですが、数日・数カ月寝食をともにするとどうしても情が移ります。今でもたまにあの子たちは元気だろうかとか思ったりもします。

そんな中でも、ふれあい家庭で4年間、男の子の兄弟をお正月や夏休み・GWなどの長期休暇の度に預かりました。最初は兄弟ともよそよそしく知らないおっさんとお婆さんの家に御邪魔しにきたお客様みたいな感じでしたが、1年・2年と関係を築いていくと、「ただいま」と言って家に入ってきて、自由に暮らし、施設に帰るときには「また帰ってくるわ、行きます」と言って戻って行ってくれるようになりました。彼らにそういう場所を作ってやれたというのは、里親をやって良かったって思えます。

数年間、短期で預かる活動していく中で、里親の方たちや普及センターの方、児相の職員の方たちと色々な形でふれあい、対話を重ねる時間が自然と増えていき、児童施設の子どもを長期養育してみませんかと仰って頂きました。

数年、活動をしてきましたがそれでも、長期という不安が返事を重くしていたのですが、里親会のサロン（意見交換会）でいろいろな方にお話を伺ったところ、皆さんいろんな事につかつたけど、最終的には預かってよかったって思えるよと、多くの方が話されるのを聞いて、マッチングをすることにしました。

マッチングとは、これから預かる子どもと面会し、様々なフィーリングや性格が合うのかと自分たちで主観的に考え、また児相やセンターの方が客観的に見る機会の事です。1回のみではなく数回、1・2時間ほど面会や一緒に遊んで判断していきます。

マッチングの結果、私たち夫婦で何とか預からせてもらえないかと言う事になり、養育里親の準備に入りだしました。

2023年の12月マッチング開始初めて、週に1度から2度、1時間から半日程度の面会を行い、子どもとの関係を築いていきます。

2024年の2月には、3人だけで初外出することになり、馬事公園で遊びました。「楽しかったぁ」と言いながら帰り、次の面会の時に、この前は「お馬さんを見に行ったらね、また行きたいね」と天使のような笑顔で言ってくれたのを鮮明に覚えています。

それから外出の時間を少しずつ伸ばしていき、外で一緒にお弁当食べたり、お昼寝をしたりとしていくと、別れの時に置いていかないでと泣いてくれるようになり、そのころには、いつの間にか子供からの呼称もパパ・ママになってました。

それからは外泊を1日・また1日と行い、何回目から2泊、次に3泊と徐々に我が家に慣れさせて、昨年の9月に養護施設を卒園し、完全に我が家の家族に迎えることができました。

最近は口うるさいママには口答えをするようになり、たまに大きな声で注意するパパには一目置く様になってきています（笑）それでも笑顔と笑い声が絶えない幸せな毎日を過ごしています。

生活する中で多少の不都合もあります。普段の生活では私たちの、岩切の姓を名乗っていますが本名は元々の姓があります。役所や病院で呼ばれる名前は基本的に本名で呼ばれるし、保育園や小学校などの卒業証書なども本名で書かれるので、その都度、周りの大人に周知を行って、岩切の姓で呼んでくださいとお願いしています。またご近所にも、急に子どもができたと言われ驚かれるので、里子ですのでよろしくお願ひしますと事前にアナウンスしたり、民生委員の方にお話して、地域に溶け込んでいけるように根回しなどをしたりしました。

住んでいるところが、私が幼少のころからずっと住んでいた土地なので簡単に地域に溶け込んでいけましたし、前々から「僕は里親をやっています、地域の皆さんもやってみませんか？」と啓発をしていたから受け入れてもらえ易かったです。

また私たちは一番気にしていることは、真実告知の義務です。

こればかりは避けては通れないものです。里子に里親との関係性、実親の存在、そして実親が子育てをできない事情などを、年齢や発達段階に合わせて理解できる言葉で伝えることです。

成長の過程で話を理解できる頃合いをみて話していきます。それまでに何が起ころうとも揺るがない家族の絆を作っていくことが僕の使命です。

これからも様々な困難はあると思いますが、それ差し引いても有り余るくらい幸せを子どもに貰っていますし、里親会や普及センター・児相のスタッフさん、みんなが助けてくれます。

これを機に皆さんも里親の事に少しでも興味が湧いたなら、勇気はいりません、一歩踏み出して私に声を掛けてください。

宮崎での児童相談所の相談対応件数は1791件、前年度に比べて196件増加しています。相談種別としては、心理的・身体的虐待が1092件、ネグレクト（育児放棄）が350件の順となっています。多くの子どもの命が危険にさらされています。大人が環境を作れば助けられるのです。

子ども達は待っています。一人でも多く家庭の温もりを感じられる子どもを増やしていきたいのです。皆さんで沢山の子どもたちの未来を守っていきましょう。

あと追伸ですが、今度のコンペに初めて参加させていただきますが、ホントにへたくそで、皆さんにご迷惑をおかけすることを先にこの場で言わせてもらいます。よろしくお願い致します。

ニコニコ BOX	0件 累計	0円 2,000円
-------------	----------	--------------

募金箱	6,425
累計	39,963

● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3秀豊ビル4階
TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/e-mail> : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場宮崎観光ホテル(毎週月曜日12:30~13:30開催)
〒880-8512宮崎市松山1-1-1
TEL.0985-27-1212